

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。(2. 47㎡/一人当たり)	8			
	②	職員配置数は適切であるか。	7	1		
業務改善	③	業務改善を進める為の目標設定と、振り返りのサイクルに広く職員が参画しているか。	8			
	④	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者の意向を把握し業務改善に繋げているか。	8			
	⑤	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	8			
	⑥	職員の資質向上を行う為に研修の機会を確保しているか。	8			
適切な支援の提供	⑦	アセスメントを適切に行い事業所全体会議等で周知し、それに伴った放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	⑧	活動プログラムの立案を職員全体で行っているか。	7	1		
	⑨	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	⑩	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、細やかに設定して支援しているか。	6	2		
	⑪	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	⑫	支援開始前は職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	1		
	⑬	支援終了後は職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を確認しているか。	6	2		・適宜個々で行っているが、送迎に出る職員もいるため全体では行っていない。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検討・改善に繋げているか。	8			
⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	8				
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか？(①自立支援活動②創作活動③地域交流の提供④余暇の提供)	8				
関係機関や保護者との連携	⑰	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	8			
	⑱	学校との情報共有(年間計画・行事予定等交換、下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8			
	⑲	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	⑳	学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか？	8			・あおいくじらで実施
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ参加しているか。	8			
	㉒	日頃から子どもの様子を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			

保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8			
	㉒	個人情報に十分注意しているか。	8			
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に、保護者に周知して苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	㉔	定期的に会報(おたより)等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	㉕	保護者会や冊子などで説明/保護者同士の連携を支援しているか。	8			
非常時の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	8			
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練を行っているか。	8			・年4回(火災・地震各2かいずつ)実施
	㉘	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。	8			
	㉙	やむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者へ事前に十分説明をして、了承を得た上で同意書を作成し、かつ記録の徹底を行っている。	8			
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	7	1		・現在該当児はいないが、必要な場合は対応していく。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	8			